

郡上農林事務所の普及活動状況 令和4年8月31日現在

今月の重点活動

■大麦 新たな大麦栽培に向けた打合せ

大和町のF農事組合法人では、今秋、始めて大麦の栽培に取り組むことから、8月23日に関係者が集まって打合せを行った。

農業普及課からは、郡上地域で転換を図っている大麦品種ファイバースノウを勧め、栽培こよみを作成して赤かび病防除など栽培のポイントを説明した。また、JAからは肥料農薬の資材や交付金等の収支試算、全農からは県産麦の状況等の説明を行った。

今後も、農業普及課は、既存大麦品種であるミノリムギからファイバースノウへの品種転換や収量・蛋白含量向上を目指した施肥体系の見直しを進めていく。



【関係者による打合の様子】

郡上の農業・農村を支える人材育成

■新規就農 就農相談を実施

8月30日中濃地域就農支援協議会郡上支部は、郡上市白鳥振興事務所において就農相談を実施した。相談に訪れたのは白鳥町内で就農を志す20代の青年で、公的な支援に頼らず就農を目指したものの限界を感じたことから郡上市へ相談し、今回の開催となった。

当日は地元認定農業者の同席のもと、本人の就農意欲や営農方針・研修体制のあり方について検討し、あすなる農業塾を活用して令和6年に就農する方針となった。

農業普及課では、研修開始から経営が軌道に乗るまで、必要な支援を実施していく。



【相談会の様子】

安心で身近な「郡上の食」づくり

■夏秋トマト 地域別研修会を開催

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会は地域を4つに分け、それぞれの現地ほ場において栽培研修会を行っている。8月2～9日に郡上トマトの学校など4会場で研修会が開催された。

農業普及課からは、今後も気温が高めで推移することが予想されるため、かん水量を多くする等の高温対策の継続及び樹勢に合わせた追肥の実施について説明を行った。また、近年多発している褐色輪紋病対策として、薬剤防除や葉かきを徹底するよう呼び掛けた。

今年度は例年より単価が高く推移しており、9～10月は更に高値販売が見込まれるため、今後の収穫量が確保できるよう支援を継続する。



【地域での研修状況】

郡上農畜水産物のブランド展開

■高冷地切り花 トルコギキョウ品種調査を実施

ひるがのフラワーサークルでは、高鷲地域内の6戸がトルコギキョウの栽培に取り組んでいる。トルコギキョウはメーカーによる品種育成が活発であり、地域に適合しかつ魅力的な切り花をより早く実需者に提供するため、品種試験を実施している。8月9日時点で、一部品種が開花したため、試験ほ場の開花期調査を実施した。

開花期調査では花卉のボリュームを中心に、切り花品質や耐病性などの項目を生産者への聞き取りも含めて調査した。他の品種も9月中旬ごろまでに開花する見込み。

農業普及課では継続して調査を実施し、産地の強みを生かした高付加価値の切り花を生産するための支援を行う。



【開花した試験品種】

中山間地域を守り育てる対策

■だいこん ひるがの高原だいこんスマート農業研究会へ県議会農林委員会視察

ひるがの高原だいこんスマート農業研究会では、令和2年度に国庫事業である「スマート農業緊急実証プロジェクト（労働力不足の解消に向けたスマート農業実証）」を活用して、自動運転トラクタ、直進アシスト機能付きトラクタ、リモコン草刈り機、GPS 搭載乗用管理機、畑地センサ、アシストスーツを導入し、新たな営農体系モデルづくりの実証を行った。今回、事業実施経営体である(株)エスタンシアに県議会農林委員会の視察があり、取り組みの経緯、成果、課題などについて説明を行うとともに、リモコン草刈機の実演作業を行った。

農業普及課では、スマート農業の実用性確認のための継続的なデータ蓄積や長期的評価など、スマート農業の取り組みを支援していく。



【リモコン草刈機の実演】